

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 25 年 2 月 25 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	ホテルにおける居住環境の向上と省エネをめざす排出削減事業
承認番号	JCDM-PJ0038
排出削減事業者名	株式会社ニューオータニ九州
排出削減共同実施事業者名	オリックス環境株式会社
事業実施場所	ホテルニューオータニ博多 (福岡県福岡市中央区渡辺通 1-1-2)
事業の概要	冷温水搬送ポンプにインバータを導入することでエネルギー効率を改善しエネルギー消費量を削減、また空調機給排気ファンにインバータを導入することでエネルギー効率を改善しエネルギー消費量を削減する。
排出削減量の計画	477 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 1,431 tCO ₂)
国内クレジット認証期間	開始日 2010 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 005 間欠運転制御、インバータ制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入

2. 本実績確認の対象期間

2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日 (第 2 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	411 tCO ₂ (2011年4月1日～2012年3月31日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画に従い、既存のポンプ・ファン類の設備にインバーター制御装置が導入されていることを設備納品書及び関係者への質問により確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、当該期間における BEMS データにより確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを事業計画との突合及び関係者への質問により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認排出削減事業計画に従って、稼働時間が BEMS データをもとに集計・算定されていることを確認した。 2) 活動量の正確性については、稼働時間が報告期間中に亘り、記録責任者の管理の下、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、BEMS データによって正確に集計・算定されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。 4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出

	<p>量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程を確認した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>5) その他</p> <p>本事業は移行限界電源方式が承認される前に承認された排出削減事業であったが、電源方式を変更した方が有利となるため、全電源排出係数より移行限界電源係数に変更されていることを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認した。</p>

5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算 216.0kl であることを確認した。

以上